

令和3年度シラバス

作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅳ		演習	小田 佳子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
<p>評価実習・長期実習を見据え、実際の患者を想定した状況で検査や面接の課題に取り組み、実践能力の向上を目指す。検査や面接技法に併せて、臨床に望ましい身なりや態度、マナーについての習得状況も確認する。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 臨床実習生として相応しい身なりと態度で模擬患者に接し、良好な関係を構築することができる。 2. 模擬患者に対して適切な動作の誘導・介助、評価を実施することができ、得られた結果を報告することができる。 3. 臨床技能や対象者への接遇などの自己の問題点を認識し、それに対する改善策を述べるができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	課題内容に基づいた実技演習①			
3	課題内容に基づいた実技演習②			
4	課題内容に基づいた実技演習③			
5	課題内容に基づいた実技演習④			
6	課題内容に基づいた実技演習⑤			
7	課題内容に基づいた実技演習⑥			
8	課題内容に基づいた実技演習⑦			
9	課題内容に基づいた実技演習⑧			
10	臨床技能試験			
11	評価者からの学生全体に向けた課題遂行に関するフィードバック			
12	各自が取り組めた点、および、修正すべき点の振り返り			
13	評価実習対策①			
14	評価実習対策②			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	臨床技能試験の結果で評価する		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	30%	ポートフォリオ面接によって評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
「PT・OT のための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編」	才藤栄一		金原出版	
「PT・OT のための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編」	才藤栄一		金原出版	
自由記載				
備考				
臨床技能試験に合格することが評価実習・臨床実習に参加する条件となる。				